

午後Ⅰ試験

問1

問1では、SNS運用会社のブロックチェーンを活用したIT戦略について出題した。全体として正答率は平均的であった。

設問1は、正答率がやや低く、“会員がデジタルコンテンツを活用することがIT戦略の前提である”という解答が見受けられた。ここでは、会員との互惠関係を強化することで、A社経済圏を拡大できるということがIT戦略の前提であることを理解してほしい。

設問3では、“会員が行った貢献活動にポイントを付与する仕組み”という解答が散見された。A社は、会員が安心してSNSを楽しめるようにするために、加害者に対する抑止力のある対策が求められている点を理解してほしい。

ITストラテジストは、事業全体を成長させるために解決すべき課題を分析し、評価した上で、デジタル技術を活用し、事業戦略を推進する能力を高めてほしい。

問2

問2では、地域におけるスマートシティ構想について出題した。全体として正答率は平均的であった。

設問1の補強しようとした弱みは、正答率がやや低く、“空き家問題”や“農水産物の利益率の低下”といった解答が散見された。これは、特定の地域に特化した課題であり、D市全体で補強しようとした弱みではないことを理解してほしい。

設問2(1)は、正答率がやや低く“人が安心して訪れ、暮らし、働くことができる市の実現”といった解答が見受けられた。スマートシティプラットフォームといった、ITを整備することによる狙いが何であるかを読み取り解答してほしい。

ITストラテジストは、対象となる事業の環境を分析し、ITを活用して情報戦略の策定する能力を高めてほしい。

問3

問3では、アパレル製造小売事業者を題材として、新たなビジネスプロセスを構築するためのITを活用した施策立案について出題した。全体として正答率は平均的であった。

設問2では、商品開発面と生産面のそれぞれを問うた。生産面は、正答率が高かった。一方で、商品開発に関する強みを生産面として捉えている解答も見受けられた。製造業のバリューチェーン上において、商品開発と生産が異なる活動であるということを理解してほしい。

設問4(3)では、“買い物カゴに購入されていない商品が残っていること”や“在庫状況を通知する”という解答が散見された。“購入しようと思ったときには品切れになっていて残念だった”という顧客体験とデータ分析基盤に在庫データが連携されていることを踏まえて解答してほしい。

ITストラテジストは、企業の経営課題及び顧客のニーズや不満を適切に捉えた上で、自社の強みを生かすITの活用施策を策定する能力を高めてほしい。

問4

問4では、実験・試験装置メーカーにおける事業展開について出題した。全体として正答率は平均的であった。

設問1(1)は、正答率がやや低かった。モーションシミュレーターの一般的な機能を答えるにとどまり、F社主力製品の特徴に言及していない解答が散見された。設問で求められている内容と、製品の特徴をよく理解して解答してほしい。

設問3(2)は、正答率が高かったが、空飛ぶクルマに期待される一般的な活用シーンを示す解答が一部見受けられた。現在の市場における問題が何であるかと、災害時・緊急時を想定した空飛ぶクルマの遠隔操縦の訓練システムについて正しく理解して解答してほしい。

ITストラテジストは、社会の要求と市場の動向を時間軸も含めて分析し、企業がもつ強みが生かせる製品を立案する能力、事業の将来性を踏まえた上で戦略的な事業計画を立案し、推進する能力をともに高めてほしい。